

# 第87回大阪皮膚科医会例会・学術講演会

## プログラム

テーマ

# アトピー性皮膚炎における炎症 コントロールの重要性を見直す

講師

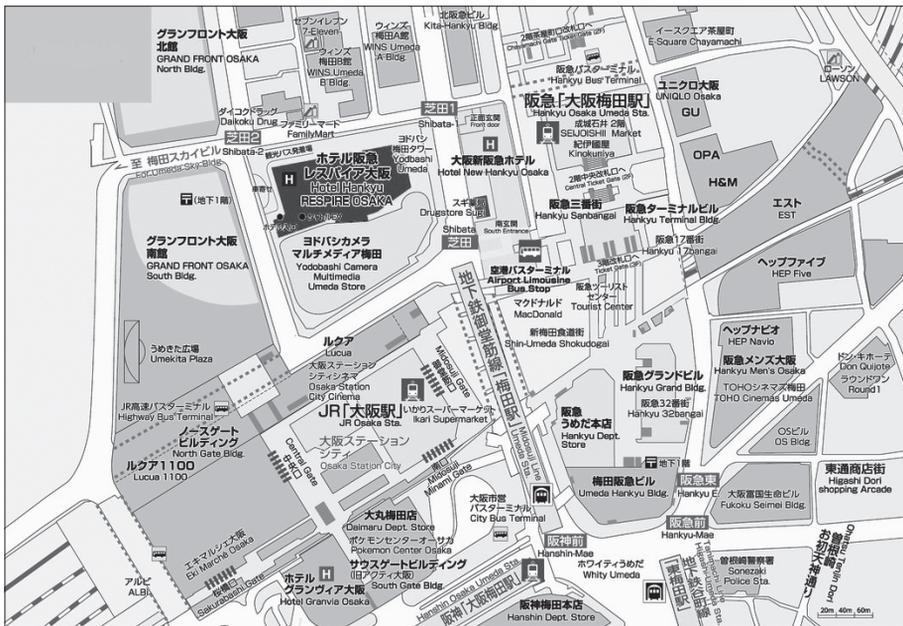
関西医科大学皮膚科 谷崎英昭先生

日時：2021年9月25日(土) 午後3時20分開場

会場：ホテル阪急レスパイア大阪（9階）

大阪府大阪市北区大深町1番1号

### 【 会場ご案内図 】



共催 大阪皮膚科医会  
日本イーライリリー株式会社

\*大阪府医師会認定CC：1、2、4、5、15、26、82

# プログラム

15:20	開場
15:40-16:00	製品説明
16:00-16:30	医会連絡会
16:30-18:00	講演
18:00-18:10	休憩
18:10-19:10	質疑応答

講演の座長：杉原 昭  
質疑応答コーナー座長：速水 淳史

## 企画主任より

アトピー性皮膚炎の病態は、皮膚バリア機能異常、アレルギー性炎症、かゆみの3つの因子が互いに連動しながら発症に関与し、これらを一体のものとして捉えることが重要であると考えられています。また、治療は、薬物療法、皮膚の生理学的異常に対する外用療法・スキンケア、悪化因子の検索と対策の3点が基本となります。注射薬抗IL-4/13受容体モノクローナル抗体が重症アトピー性皮膚炎に使用可能となりましたが、難治例も見られ、依然として、アンメット・メディカル・ニーズは多いと言わざるを得ません。

JAK/STATシグナル伝達経路は、アトピー性皮膚炎の病態形成にかかわるTh2サイトカイン、IL-31のシグナル伝達に関与しています。昨年の外用Jak阻害薬の登場に続き、今年、新規内服薬としては12年ぶりとなる、内服Jak阻害薬バリシチニブ錠が使用可能となり、アトピー性皮膚炎の病態に関わる3つの因子、いずれにも作用する事が期待されています。

今回は、関西医科大学 谷崎英昭教授をお招きし、アトピー性皮膚炎の病態、治療についての最新の話題について、知識を深めたいと思います。ぜひ、ご参加のほど宜しくお願いします。

企画主任：杉原 昭  
プロジェクトチーム：速水 淳史

# アトピー性皮膚炎における 炎症コントロールの重要性を見直す

関西医科大学皮膚科

谷崎英昭

アトピー性皮膚炎（AD）は、かゆみを伴う湿疹が増悪・寛解を繰り返す皮膚疾患の代表ともいえる存在である。ADが慢性疾患として治療に難渋するのは、乾燥肌（皮膚バリア異常）、炎症、かゆみなどの要因が相互に影響を及ぼし合い、更に疾患背景としての悪化要因などが患者ごとに多岐にわたるためである。近年、既存治療コントロール不良のAD治療選択肢に生物学的製剤や分子標的型の内服薬が新たに加わることによって、疾患コントロールと患者治療満足度の改善を認めるのみならず、新規薬剤の効果からADの病態における炎症性サイトカインとそのシグナル伝達機構の重要性に対して理解が深まりつつあると感じている。本講演では、大きな転換期を迎えつつあるAD治療の現状と課題を確認しながら、新規治療薬の効果的な導入方法とポジショニングについて再考したい。

## 接続方法

<b>PCでご視聴の場合： ブラウザからアクセス下さい</b>	<b>スマートフォン、タブレットでご視聴の場合： 開催までにWebexアプリをダウンロード</b>
<p>①ご使用の検索サイトで「Webex」と入力／検索</p> <p>②トップに出て来る「Cisco Webex/公式」にアクセス下さい</p> <p>③サイト上部の「ミーティングに参加」をクリック下さい</p> <p>④ミーティングに参加の画面が表示されますので、下記のイベント番号、パスワード、お名前、メールアドレスをご入力頂き、「今すぐ参加」をクリック下さい</p>	<p>※環境ごとのダウンロードの方法がご不明な場合は下記URLをご参照下さい。</p> <div data-bbox="998 1136 1195 1180"><p>Webexダウンロードはこちらから</p></div>  <p><a href="https://lilly-japan.webex.com">lilly-japan.webex.com</a></p> <p><a href="https://lilly-jp.webcdn.stream.ne.jp/www08/lilly-jp/pdf/frt/webex_manual/202005/">https://lilly-jp.webcdn.stream.ne.jp/www08/lilly-jp/pdf/frt/webex_manual/202005/</a></p>

## 当日のアクセスコード（開始30分前よりアクセス可）

タブレット/スマートフォンはこちらのQRコードをカメラで読み取って頂くか、下記URLから

**参加** を押してアクセス下さい

<https://lilly-japan.webex.com/lilly-japan/onstage/g.php?MTID=ef7b1d49eb03a797d90b2e8ed8ea37d98>

- ・イベント番号：170 020 2215
- ・パスワード：0925

アクセスは  
こちら



企画主任：杉原 昭  
会 長：磯ノ上正明

大阪皮膚科医会事務局

〒531-0076 大阪市北区大淀中3-15-5

関西共同印刷所営業1課内 日下 敦 宛て

T E L 06-6453-3651

Lilly

ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤 薬価基準収載

**オルミエント<sup>®</sup>錠** 4mg/2mg

olumiant<sup>®</sup> (baricitinib) tablets バリシチニブ錠

劇薬・処方箋医薬品 注意-医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

**Lilly Answers** リリーアンサーズ  
日本イーライリリー医薬情報問合せ窓口  
**0120-360-605**<sup>※1</sup> (医療関係者向け)  
受付時間 月曜日～金曜日 8:45～17:30<sup>※2</sup>  
※1 通話料は無料です。携帯電話、PHSからもご利用いただけます  
※2 祝祭日及び当社休日を除きます  
[www.lillymedical.jp](http://www.lillymedical.jp)

製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)  
**日本イーライリリー株式会社**  
〒651-0086 神戸市中央区磯上通5丁目1番28号

PP-BA-JP-1792  
2020年12月作成